

令和3年度 第2回 函南町障がい者自立支援協議会（函南あいのわネット）全体会

~~令和4年2月18日(金) 13:30～~~

~~函南町役場 2階 大会議室~~

※新型コロナ感染拡大のため書面開催となった。

1. 新規委員について

2. 協議事項

- ・就労支援プロジェクトの部会化について

3. 報告事項

[1] 令和2年度函南あいのわネット活動報告

(1) 運営会議

(2) 就労支援プロジェクト

(3) クローバーネット

(4) 関連する委員会等

[2] 令和4年度函南あいのわネット活動計画

[1]令和3年度函南あいのわネット活動報告

(1) 運営会議 活動報告書

1. 運営会議について

町内の福祉サービス事業所、医療機関、家族会及び行政担当者の13団体で構成。相談支援事業所連携会議等で抽出された地域課題について、協議・調整を行い、プロジェクトチームを立ち上げ、その後の進捗状況を把握して助言や提案を行う。

2. 令和3年度活動内容

	日時・場所	参加人数	協議内容
第1回	令和3年4月13日(火) 13:30~15:00 役場5階 第1会議室	16名	委員の紹介、協議会について あいのわふれあいマルシェについて プロジェクトについて 全体会について
第2回	令和3年6月8日(火) 13:30~15:15 役場5階 第1会議室	18名	新型コロナワクチン接種について あいのわふれあいマルシェについて 地域課題について ヤングケアラーについて 防災訓練・講座について
第3回	令和3年8月16日(火) 13:30~15:00 役場5階 第1会議室	13名	新規事業所紹介 あいのわふれあいマルシェについて 就労支援プロジェクト進捗状況について 地域課題について
第4回	令和3年10月11日(月) 13:30~15:00 役場5階 第1・2会議室	16名	あいのわふれあいマルシェについて 就労支援プロジェクト進捗状況について 地域課題について 重層的支援体制整備事業について
第5回	令和3年12月7日(火) 13:30~15:00 役場5階 第1・2会議室	14名	あいのわふれあいマルシェについて 就労支援プロジェクトの進捗状況について 地域課題・来年度プロジェクト案について
第6回	令和4年2月8日(火) 13:30~14:50 Zoom ミーティング	13名	あいのわふれあいマルシェについて 就労支援プロジェクトの進捗状況について 地域課題・来年度プロジェクト案について 地域生活支援拠点整備委員会について

(2)就労支援プロジェクト 活動報告書

1. プロジェクトについて

運営会議より、福祉と就労の場の情報交換により就労支援事業所の力が地域に提供できるのではないかと、各分野のニーズを把握し協働できる体制づくりが必要という意見があった。また、障害者計画の調査結果では、町内に A 型や就労移行の事業所が無いことや、優先調達が進んでいないことが課題となっていた。

今回は、町内の就労支援事業所をメンバーとして、事業所の作業拡大や賃金向上から、一般就労へのつながりを目的に、民間企業と函南町から 1 つずつ委託作業を開拓することを目標に活動した。

2. 令和 3 年度活動内容

	日時・場所	参加人数	協議内容
第 1 回	令和 3 年 6 月 17 日(木) 13:30~15:15 役場 5 階 第 1 会議室	8 名	プロジェクトの目的の確認
第 2 回	令和 3 年 7 月 13 日(火) 16:00~17:30 志~cocoro~	8 名	プロジェクトの目標・農福連携・民間企業への働きかけについて
第 3 回	令和 3 年 8 月 24 日(火) 15:30~17:00 役場 1 階 町民ホール	11 名	町からの委託作業・各事業所現状について 函南町の商工会について ゲスト：商工会 福島事務局長
第 4 回	令和 3 年 9 月 27 日(月) 15:30~17:00 役場 1 階 町民ホール	8 名	町からの作業・PR チラシ・団体名について
打ち合せ	令和 3 年 10 月 7 日(木) 15:30~17:00 11 日(月) 15:30~16:30	8 名	町の施設 清掃業務についての打ち合わせ①②
第 5 回	令和 3 年 10 月 18 日(月) 15:30~17:15 役場 5 階 第 1・2 会議室	9 名	ふれあいセンター清掃業務について チームの役割分担、ルール作りについて
第 6 回	令和 3 年 11 月 17 日(水) 15:30~17:00 サニープレイスカンナミ	10 名	ふれあいセンター清掃作業の必要経費について

第 7 回	令和4年1月6日（木） 15：30～18：00 役場5階 第1会議室	11名	ふれあいセンター清掃作業について・ チームの活動費について
第 8 回	令和4年2月2日（水） 15：30～16：15 オンライン会議	10名	チームの活動方法についてまとめ 清掃作業報告

3. 活動結果

- ・この事業所のグループ名を【函南あいのわネット TEAM KANNAMI 就労創出プロジェクト】とする。
- ・話の内容により、メンバー以外の事業所職員（代表者等）も参加して会議をおこなった。
- ・各事業所の得意分野を活かしながら、1事業所では受託できない作業でも協力することで大きな仕事ができるようになるという点が良い。
- ・利用者に様々な作業を提供できる⇒作業能力の向上⇒一般就労へのつながり という点では合意。
- ・各事業所の利用者層や職員数、法人団体の違いなどから、すべての活動を全員でおこなうことは難しい。
- ・作業の開拓やノウハウ、スキルの共有は函南町の就労事業所全体の質の向上につながる。

例えばこのような動きを想定

作業の依頼 ⇒ 参加事業所を募る ⇒ チーム結成 ⇒ 割り振りなど調整 ⇒ 作業実施 ⇒ 全体報告

- ・来年度は、①函南町福祉課から封入作業
②生涯学習課からふれあいセンターの清掃作業（申請中）
③JA 農福連携の作業 が予定されている。

4. 今後の活動について

- ・商工会などを通じて事業所 PR をするためのチラシを作製したい。
- ・あったか手づくり販売会への参加や PR 方法を検討したい。
- ・障害者週間啓発活動（あいのわふれあいマルシェ）の作業、役割分担を検討する場が必要。
- ・町内の事業所が増えることから、継続して活動し事業所を応援していく部会活動に移行したい。

(3)クローバーネット(相談支援事業所連携会議) 活動報告書

1. クローバーネットについて

町内の相談支援事業所における情報共有、連携の場。必要に応じて、関係者を招集。困難事例や精神保健福祉連絡会からのケースについて検討し、地域課題の吸い上げ・抽出、運営会議への提案を行う。

2. 令和3年度活動内容

	日時	参加人数	協議内容
第1回	令和3年4月15日(木) 10:00~12:00 リベルテ相談室	10名	三島市情報連携ミーティングシートの活用について 情報共有(事業所情報等)、相談活動報告 令和3年度報酬改定について
第2回	令和3年5月20日(木) 10:00~12:00 リベルテ相談室	11名	新型コロナウイルスワクチン接種について 地域生活支援拠点整備について 情報共有、相談活動報告
第3回	令和3年6月17日(木) 10:00~12:00 リベルテ相談室	10名	令和3年度報酬改定について あいのわふれあいマルシェについて 情報共有、相談活動報告
第4回	令和3年7月15日(木) 10:00~11:30 リベルテ相談室	9名	情報共有、相談活動報告 地域生活支援拠点整備 緊急時対応相談について その他
第5回	令和3年8月19日(木) 10:00~11:00 役場5階 第2会議室	9名	計画相談の担当割り振りについて あいのわふれあいマルシェについて 新型コロナウイルス感染症対策について 65歳以降のサービス利用更新手続きについて
第6回	令和3年9月16日(木) 10:00~11:30 役場5階 第2会議室	11名	ケース検討 あいのわふれあいマルシェについて 新規ケースについて GH利用時の障害支援区分の必要性について
第7回	令和3年10月14日(木) 10:00~11:30 役場5階 第2会議室	12名	65歳以降のサービス更新、介護保険への移行について あいのわふれあいマルシェについて その他情報共有
第8回	令和3年11月18日(木) 10:00~12:00 伊豆総合福祉センター会議室	10名	計画相談の担当割り振りについて 医療的ケアが必要な重症心身障害児者の支援について 地域生活支援拠点整備に関する動画視聴
第9回	令和3年12月23日(木) 10:00~12:00 伊豆総合福祉センター会議室	10名	研修「障害者虐待防止法の理解と対応」 ケース検討 65歳以降の障害福祉サービスの新規利用について
第10回	令和4年1月20日(木) 10:00~11:00 Zoom ミーティング	10名	新高額障害福祉サービス等給付費について 協議会プロジェクト案について ケースについて、情報共有
第11回	令和4年2月17日(木) 10:00~12:00 Zoom ミーティング	11名	勉強会「沼津市自立相談支援センターの取り組み」 相談支援従事者初任者研修報告 協議会プロジェクト案について ケースについて 熱発者(コロナ疑い)の受診のための移動手段について

(4)関連する委員会等 活動報告書

【1】 地域生活支援拠点整備委員会

	時・場所	参加人数	内容
第1回	令和3年6月28日(木) 13:30~15:15 役場5階 第1会議室	8名	事業所向け説明会の報告 加算や事業所の届出について
第2回	令和4年1月28日(金) オンライン・書面開催	9名	説明会の実施報告 緊急時対応相談の登録数報告 短期入所事業所（伊豆ライフ）より情報・現状 今後について

【2】 災害対策講座・訓練

(1)町内事業所への出張防災講座

出張先事業所	実施日
伊豆リハビリテーションセンター(通所)	令和3年10月19日
合同会社 望	令和3年11月25日
こどもサポート教室きらり	令和3年12月8日

(2)ラインワークスを使用した訓練

① 地震想定での訓練

使用機能	発信元	実施日	内容
掲示板 アンケート	リベルテ	令和3年5月24日	被害状況、営業状況、 援助の要否等を確認
トーク アンケート	リベルテ	令和3年11月1日	

② 実際の大雨・台風発生時

使用機能	発信元	通知回数	内容
掲示板	福祉課	3回	警戒・被害状況の確認

<ラインワークス使用機能・登録状況について>

- ・「掲示板」では気づきにくいいため、今後は「トーク」機能を使用していくこととする。
- ・ラインワークス登録者数：16（令和4年2月時点）

※新規登録希望は事務局までお知らせください。

【3】 児童事業所連携会議

	時・場所	参加人数	内容
第1回	令和3年6月21日(月) 10:00~12:00 役場5階 第1会議室	9名	育相談連絡会に向けての意見・提案
第2回	令和3年9月8日(水) 書面開催	5事業所	育相談連絡会の報告 1年生の受け入れ・空き状況 強会について

【4】 第4期函南町障がい者計画の点検・評価 【別紙参照】

- ・行政担当課に主要施策毎の令和2年度の「取り組み／実施状況」を事前調査。



- ・協議会委員へ基本目標毎に振り分け、達成度の評価を依頼。



- ・結果を全体会にて配布し、函南町に提出。

【5】 障害福祉サービス事業所等一覧

- ・令和3年9月に更新し、函南町ホームページに掲載。

書面開催回答票まとめ

1. 協議事項

就労支援プロジェクトの部会化について ※過半数の賛成により、部会化は承認

内訳： 承諾する 28 （回答あり：18、回答なし：10）

承諾しない 1

<承諾しない理由>

来年度の方向性として商工会に対するチラシ作りやマルシェの作業分担等が主となるので、部会にする必要はない。1年毎に方向性を決め、取り組むことを明確にしていく中で、反省を行うことが必要であると感じた1年であったため。

2. 報告事項

協議会の活動について意見等

- ・今後も理念・目的の達成に向けて、積極的な活動を継続してほしい。
- ・「部会化」については、「有期」であるプロジェクトを「部会」という組織に移行させ継続的に対応できるものにするということは「協議会組織図」や「第6期函南町障害福祉計画」等を見てわかるが、もう少し「部会組織」や「運営」について具体的に示してくれると良い。
- ・ヤングケアラーについて社会的に話題となっているが、学校や行政は実態調査や状況把握に取り組んでいるのか。該当する、疑わしい事例があった場合、支援としては何か取り組んでいるのか。
- ・地域共生社会を目指すには、相談窓口の充実が必要と思うが、多様な相談に対応できる、または様々な人が集まり、社会参加できるスペースがあれば良いか考える。
- ・就労支援プロジェクトの部会化について、函南町のB型事業所がチームとして協力してやっていきたいと願う。しかし法人や体制の違いから不公平感など感情論がぶつかって物事がうまく進まないことが危惧される。そうならないようにルール作りが必要だが、それでもコントロールが難しい場合はやはり中立的な立場である事務局や福祉課が間に入っていただく必要がある。
- ・協議会の活動によって、話し合いなどが継続的に行われ、少しずついろいろな方面で改善が進んでいると思う。福祉事業所も増えてきて、助け合える場が広がったように感じる。
- ・協議会の活動については、皆さんの意見をお聞きしながら、取り入れていきたいと思う。皆さんと交流しながら、町の福祉を一緒に考えていく機会として活動したいところである。
- ・協議会の活動は地域近隣に知られる所であるが、世の中の変化は激しく、少子高齢化は急速に進み核家族により孤立化が進み、ひきこもり 8050 問題等 地域住民が抱える問題も複雑化している。さらに新型コロナウイルス感染症の影響により従来の支援体制では多様化するニーズへの対応が困難になってきているので、きめ細かい情報発信が大切だと思う。
- ・障害者サービスから高齢者サービスへの移行など、途切れない支援を目指して、お互いの制度についてわかりやすく学習する機会を作るなど、相互理解と協力ができることを願う。重層的支援体制整備事業など、コロナ禍ではあるが、交流する機会が増えていくことを希望する。